



芦北町議会だより

うたせ

第83号

令和8年  
2月3日発行



**令和8年芦北町成人式**

(令和8年1月11日、芦北町民総合センター<しろやまスカイドーム>)

- 令和7年12月定例会 ..... P2
- 主な補正予算・人事案件 ..... P3
- 一般質問 ..... P4~6
- 議案の審議結果 ..... P7
- 芦北町議会から氷川町へ義援金 ..... P8
- 令和7年度町村議会広報研修会 ..... P9
- 議会のうごき・ちょっといっぷく ..... P10

# 令和7年12月定例会



令和7年12月定例会は、12月2日に招集され、12月5日までの4日間の会期で開催しました。

上程された議案は、令和7年度一般会計及び特別会計並びに水道事業、下水道事業会計補正予算計7件、芦北町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正計5件、固定資産評価審査委員会委員の選任同意計3件、人権擁護委員の推薦計3件、議会委員会条例の一部改正1件の合計19件あり、審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

また、最終日には、3人の議員が登壇し、町政全般にわたり一般質問を行いました。

(議案の内容と結果は7ページに、一般質問の内容は4〜6ページに記載)

## 委員会の定数が変わります

現在 (定数)			改正後 (定数)
総務厚生常任委員会	7人	➔	6人
建設経済文教常任委員会	7人	➔	6人
広報委員会	6人	➔	5人
資格審査特別委員会 懲罰特別委員会	7人	➔	6人

芦北町議会議員の定数が現在の14人から、次期改選時(令和8年3月29日選挙)には2人減の12人になります。それに伴い、今議会で可決された議会委員会条例の一部改正により、各委員会の定数が左表のとおり変更となります。

## 主な補正予算 <一般会計>

(金額は1万円未満を四捨五入)

○あしきたマリンパーク再整備工事 あしきたマリンパーク再整備に伴うシャワー・トイレ等改修費用	1,892万円
○各小学校空調機設置設計業務委託料 各小学校体育館への空調設備設置に係る設計業務委託	1,430万円
○各中学校空調機設置設計業務委託料 各中学校体育館への空調設備設置に係る設計業務委託	1,157万円
○道路維持修繕工事 町道太田線法面改修工事費用	860万円
○御立岬公園運営委託料 キャンプ場等宿泊施設の収入が猛暑などの影響により減少したため	701万円
○地域衛星通信ネットワーク第3世代システム整備事業負担金 地域衛星通信ネットワーク第3世代システム整備事業実施に伴う熊本県への負担金	646万円
○戸籍総合システム改修委託料 戸籍振り仮名の一括処理及び共同親権導入に伴うシステム改修委託	564万円
○第2キュービクル及び高圧ケーブル改修工事 御立岬温泉センターにおける工事を新規格により施工するための増額補正	150万円

## << 人事案件 >>

(任期 令和8年4月1日～令和11年3月31日)

○岩崎 力氏(湯浦)  
○杉本 芳郎氏(海浦)  
○元山 俊治氏(小田浦)

人権擁護委員推薦適任者と認定

(任期 令和8年2月11日～令和11年2月10日)

○藤井 哲郎氏(宮崎)  
○野口 博司氏(小田浦)  
○石井 忠也氏(花岡)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

# 一般質問(要約)

## 防犯カメラ設置推進で 安全安心のまちづくりを!



楠原清照議員



防犯カメラ

個人宅に設置する防犯カメラに対する補助は県内では本町と山都町だけとなっている。その他は表1のとおり。

**答**

池田総務課長

本町は「芦北町生活安全安心条例」を制定し、その施策の一つとして「防犯対策総合支援事業」を実施している。今後も芦北警察署との連携を深めながら町民の安全安心な暮らしの実現に向け必要十分な予算を確保し継続的に取り組む。

**質**

防犯総合支援補助の運用と現状はどうなっているのか。

**答**

竹崎町長

(表1) 防犯対策総合支援事業の概要

防犯カメラ設置補助		防犯対策品設置補助 (ドアホンなど)	
実績	250件385台 1,602万3千円 (R2開始~6年度5年間)	13件17台 22万4千円 (R6年度から開始)	
補助率	個人	2/3 (上限2万円)	
	地域団体	3/4 (上限20万円)	

(まとめ) ① 防犯ネットワークの構築を! ② プライバシーに配慮した指針の検討を!

防犯カメラ設置メリット	
1. 犯罪やいたづらを未然に防げる。	3. トラブル発生時に状況を検証できる。
2. 犯罪を記録して解決につなげる。	4. 子供やお年寄り、ペットを見守れる。
	5. 機種によっては外出先でも監視できる。



小災害復旧事業

補助率や限度額の見直しについて検討を進める。その他は表2、表3のとおり。

**答**

福田農林水産課長

小災害復旧事業は本町が県内で初めて制度化し、その後「芦北モデル」として県内に普及した。これからも被災者に寄り添う行政、政治に取り組んでいく。

**答**

竹崎町長

単町小災害復旧事業のうち農地・農林水産施設の運用等はどうなっているのか。

小災害復旧事業の補助率アップで負担軽減を!

(表2) 単町小災害復旧事業の概要

事業内容	国庫補助の対象とならない災害復旧のための事業であり早急な営農再開に寄与
実績	すべて農地復旧40件 1,450万7千円 (R2~R6年度5年間:年平均8件 290万1,400円)
補助率	事業費(消費税除く) 10万円以上7/10 (補助限度額42万円) ※原形復旧原則

(表3) 国の災害復旧事業の概要

対象事業費	事業費40万円以上	
基本補助率	農地50% 農業用施設65%	
最終補助率	通常時	激甚災害指定時
	農地86% 農業用施設97.5%	農地97.1% 農業用施設99.5%

(まとめ) ① 補助率の更なるアップを! ② 災害時には復旧を優先し大胆な財政出動を!



長口 隆議員

# 一般質問(要約)

## 町有遊休施設はどうする!

**質** 昨年度解体撤去した保養センターの撤去費用が、1億5千万円ほど要したことを考えると莫大な費用を要すると思うが、町有遊休施設建物の現在の状況は。また今後どの様な計画を立てているのか。

**答** 池田総務課長

遊休施設の状況は、旧吉尾小や旧海路小など合計10施設ある。そのうち、旧吉尾小や旧大野中は利活用が可能、残り8施設は老朽化で活用が見込めない施設と考えている。老朽化が著しい施設については、解体を視野に入れた検討を行う。

**質** 老朽化が著しい施設については、解体費用について検討はしているのか。

また、当該事業は国の交付税措置がある過疎対策事業債の対象になるのか。

**答** 池田総務課長

社会教育センターは、アスベスト調査を実施したうえで、解体撤去費用を7千850万円と見積もっている。

**答** 田代企画財政課長

過疎対策事業債は元利償還金に対して70%の交付税措置があるが、自治体が所有する遊休施設の除去事業は対象にならない。

**質** 芦北町は現在70億円近い基金残高があり健全財政である。しかし、人口は減少傾向にあり、体力のあるうちに計画的に解体撤去して行くべきではないか。遊休施設が増えるのは国の地方政策の誤りの結果である。町長は熊本県町村会長の要職を務めているので、過疎地域の自治体が行う施設撤去費用は過疎対策事業債に該当するよう国に強く働き掛けて頂きたいと思うが町長の考えを。

**答** 竹崎町長

公共の建築物、構築物については、全国的な問題になっている。解体には多額の費用が掛かるが、解体後の計画がないと国の補助金をもらえない状況である。提案の件に関しては、全国の同志、自治体の首長とともに国に働きかけをしたい。

### 土地利用型農業振興は!

**質** 今年度は中山間地域等直接支払交付金制度、

多面的機能支払事業の更新年度であったが、更新組織はそれぞれ何件か、また両制度の推進と土地利用型農業組織育成についてどの様に考えているのか。

**答** 福田農林水産課長

中山間地域等直接支払交付金制度は44組織421haが更新され、多面的機能支払事業は29組織356haで取り組まれている。

土地利用型農業組織は、本町の農業振興において必要不可欠な組織であり、今後も経営基盤の強化や農作業の省力化・効率化が着実に図られるよう支援していく。

**質** 自伐型林業の取組の現在の進捗状況は。

**答** 福田農林水産課長

令和7年度も地域おこし協力隊員を4名採用し、自伐型林業の担い手として自立できるように、林業技術の習得に励んでいる。

**質** 自伐型林業者として町内で自立する林業者に対して、町が管理委託契約再委託契約の仲介をすることを考えているか。また、転入者で自伐型林業者を目指す人を含めた自伐型林業者の有機的な繋がりを保つ組織の立上げはできているか。

**答** 福田農林水産課長

再委託契約の仲介は、森林経営に適すると判断した山林では、町・所有者・施業者の3者で管理に関する協定を締結し、森林整備を行う計画である。新たな組織の立ち上げの重要性は認識しているのので、関係者との意見交換を重ね、組織の設立を検討していきたい。



自伐型林業研修状況

# 一般質問(要約)

## 町の大きな可能性を示した「あしきた花火祭り」!



百田翔吾議員



多くの人でにぎわったあしきた花火祭り

**質**

「あしきた花火祭り」は、多くの来場者を集め、地域の活性化や観光振興に寄与したと感じているが、その成果を町としてどのように評価しているのか。

**答**

梶 商工観光課長

「あしきた花火祭り」は芦北町商工会青年部が主催した事業である。町は補助金による支援を行うとともに、準備

**質**

や運営、PR活動について協力を行なった。当日は、町内外から合わせて約8千人が来場され、これまで町内で行われたイベントの中で、最大の集客数となった。芦北町の名を大いに広めたこと、経済効果をもたらしたことから多くの成果があったものと考えている。

**答**

梶 商工観光課長

今年度は芦北町合併20周年記念事業として、これまででないエネルギーと予算をかけた開催されたものである。まずは主催者の意向を確認した上で、今後、来年度の予算を編成する過程において、最善の方法を検討していきたい。

**答**

平田 建設課長

熊本県に確認したところ、残る八代管内の約1.3kmについては、具体的なスケジュールは示されていないが、事業費を確保しながら着実な整備の進捗を図っていくとされている。

**質**

改良区間完成に向け、町への取組はどうなっているのか。

**答**

平田 建設課長

地域住民にとって重要な生活道路であると認識している。また、「八代市・氷

### 県道二見田浦線の早期完成を!

川町・芦北町定住自立圏共生ビジョン」において、圏域を結ぶ主要幹線として位置付けている。今後も改良区間の早期完成に向け、関係機関と連携しながら、国・県への要望を継続して行っていく。



県道二見田浦線

# 令和7年 第5回芦北町議会(12月定例会)審議結果

区 分	議 案	内 容	審議結果
議案第47号	令和7年度芦北町一般会計補正予算(第5号)	概要等は、P3に掲載	可 決 (全 会 一 致)
議案第48号	令和7年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		
議案第49号	令和7年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		
議案第50号	令和7年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算(第2号)		
議案第51号	令和7年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)		
議案第52号	令和7年度芦北町水道事業会計補正予算(第1号)		
議案第53号	令和7年度芦北町下水道事業会計補正予算(第2号)		
議案第54号	芦北町一般職の職員の給与に関する条例及び芦北町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	・熊本県人事委員会勧告等に基づく増額改定 一般職：給料表 3.89%(平均) 期末・勤勉手当それぞれ 0.025月 特定任期付き職員 期末手当：0.05月	同 意 (全会一致)
議案第55号	芦北町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	・国の特別職の職員の給与に関する法律の改正にあわせ、町長、副町長、教育長の期末手当を0.05月増額改定。 ・芦北町特別職報酬等審議会の答申に基づく報酬の改定	
議案第56号	芦北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	・国の特別職の職員の給与に関する法律の改正にあわせて、議会議員の期末手当を0.05月増額改定 ・芦北町特別職報酬等審議会の答申に基づく報酬の改定	
議案第57号	芦北町議会議員及び芦北町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	・国の公職選挙法施行令の一部改正に伴う、議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担の改正	
議案第58号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	・組合の構成団体の一つが交通災害事務から脱退するため、規約の一部を改正	
同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて(石井忠也氏)	・令和8年2月10日に任期満了となるもので、委員の選任には地方税法第423条第3項の規定により議会の同意を得る必要があるため。	同 意 (全会一致)
同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて(野口博司氏)		
同意第5号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて(藤井哲郎氏)		
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(元山俊治氏)	・令和8年3月31日に任期満了となるもので、法務大臣に候補者として推薦するために人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるもの。	適任者と認める (全会一致)
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(杉本芳郎氏)		
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(岩崎力氏)		
発議第4号	芦北町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	・議会議員定数2人減に伴う委員会委員定数の変更によるもの。	可 決 (全会一致)

## 芦北町議会から氷川町へ義援金



氷川町三浦賢治議長(右)へ義援金を手渡す  
芦北町宮内道則議長(左)

令和2年7月豪雨で芦北町が被災した際に、「八代市・氷川町・芦北町定住自立圏連携協定」を締結している氷川町議会から義援金を頂いておりました。  
令和7年8月の豪雨で被災された氷川町へ芦北町議会議員全員が拠出して義援金を贈ることを決め、令和7年11月26日に宮内道則議長が氷川町役場を訪ね、三浦賢治氷川町議長へ義援金を手渡しました。

## 第69回 町村議会議長全国大会



議長大会終了後、全国町村会館において、熊本県関係の国会議員に対し「第69回町村議会議長全国大会」での決議事項の早急な実現を要望し、併せて意見交換会が行われました。

国会会期中ではありましたが、多くの国会議員の方々に参加いただきました。

令和7年11月12日に全国町村議会議長会主催の第69回町村議会議長全国大会が、全国から約1,700人の議会関係者の出席のもと東京のNHKホールにて開催され、本町からも宮内道則議長が出席しました。  
議事においては、大会宣言や決議、特別決議、要望事項が提案され、全会一致で決定されました。



木原稔内閣官房長官と

## 令和7年度 町村議会広報研修会



11月7日に熊本県市町村自治会館において町村議会広報研修会が開催され、本町議会からも広報委員会委員4名が参加しました。

議会広報ファシリテーターで熊本学園大学招聘教授の越地真一郎氏の司会進行による事務局職員をパネリストにしたパネル討議やクリニックが行われました。参加した各町村の委員からも各広報紙を読んだ感想や意見交換等が活発に行われ、非常に参考になる研修会となりました。

## 芦北町議会議員一般選挙

3月29日(日)は、4年に1度実施される芦北町議会議員一般選挙の投票日です。あなたの1票を必ず投票しましょう。

当日不在で投票所に行けない方は、下記のとおり期日前投票ができます。

### ◆期日前投票所

芦北町役場本庁2階、田浦支所1階

### ◆日 時

3月25日(水)から3月28日(土)まで

午前8時30分～午後8時

## 令和7年度 第2回町村議会議員研修会

令和8年1月20日に令和7年度2回目の町村議会議員研修会がオンラインで開催されました。

講師はジャーナリストで中央大学非常勤講師の青山彰久氏が「地方創生のゆくえと議会の役割」を題し講義をされました。

これまでの地方創生の取組や現在の不安定な政治情勢、また自治体議会が抱えている問題等非常に興味深い話で議員も講師の話に終始聞き入っていました。



### ： 議会のうごき ：

- 令和7年 1月 7日(金) 町村議会広報研修会(自治会館)
- 12日(水) 第69回町村議会議長全国大会(NHKホール)
- 熊本県関係国会議員への要望・意見交換会(全国町村会館)
- 26日(水) 議会運営委員会、議会全員協議会
- 12月 2日(火) 12月定例会開会(議案審議)
- 5日(金) 12月定例会閉会(一般質問)、議会広報委員会
- 17日(水) 水俣芦北広域行政事務組合議会定例会
- 19日(金) 熊本県町村議会議長会第4回理事会(自治会館)
  
- 令和8年 1月15日(木) 議会広報委員会
- 1月20日(火) 町村議会議員研修会(オンライン)

議会の会議録は、芦北町ホームページに掲載しております。

#### 議会広報委員会

委員	委員長	委員
林 寺 宮 川 長 楠	田 本 尾 尻 口 原	耀 順 秀 成 清
宏 一 行 美 隆		

さて早いものでもう立春になりました。今年には議会議員の改選の年です。町民の方々が常日頃幸せを感じることが出来る様に皆様が願いを託せると思う人に大切な一票を投じて頂きたいと思っております。

(宮尾秀行)

令和6年の大晦日から7年の元旦、令和7年の大晦日から今年8年の元旦は、田浦阿蘇神社氏子総代会長として宮司さんと総代役員の皆と神社で過ごしました。

新年を迎えると宮司さんのお祓いをする中、参拝客は皆拍手を打ち、深くお辞儀をし、願いが叶うようにお祈りしておられました。また正月はスポーツでの勝利を祈る楽しみもありました。元日は井川龍人さんの力走、年末年始には母親が田浦出身の大津高校サッカー部山本翼君の大活躍で元気をもらいました。

